

データの定義

分母: 下記のすべてを満たす症例

- (1) DPCコード6桁が120010「卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍」
- (2) 下記のいずれかを実施
  - 試験開腹術K636
  - 定義テーブルにない手術KKK1
  - 子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)K889
  - リンパ節群郭清術 後腹膜K6277
  - リンパ節群郭清術 骨盤K6278
  - 大網切除術K641
  - 骨盤内臓全摘術K645
  - 直腸切除・切断術 低位前方切除術K7402
  - 子宮全摘術K877
  - 子宮附属器腫瘍摘出術(両側)
    - 開腹によるものK8881
    - 腹腔鏡によるものK8882
  - 卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術(両側)
    - 開腹によるものK888-21
    - 腹腔鏡によるものK888-22
- (3) 同一入院期間中、上記手術実施日以外に手術が行われていない
- (4) 抗菌薬投与日が連続しており、一時中断・再開のない症例
- (5) 抗菌薬投与エピソードが手術日以前にはじまっていない
- (6) (1)~(5)の症例のうち、投与日数が病院毎に平均+2SDを超えない症例

分子: 上記症例において、抗菌薬が1回でも算定された日数の合計

対象データ期間: 2009年4月1日 ~ 2010年3月31日の退院症例

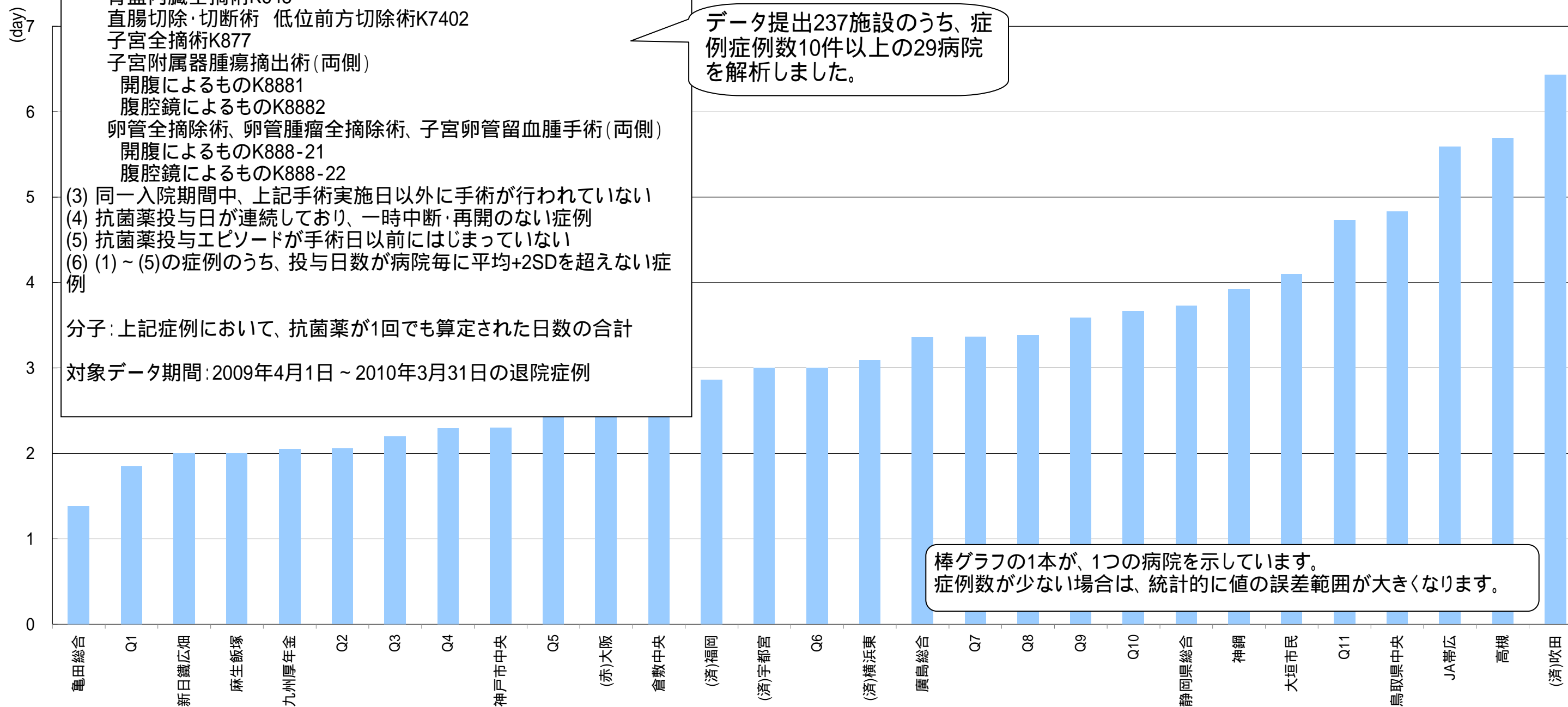
17) 周術期抗菌薬の平均投与日数 卵巣がん

女性生殖器手術は「準清潔手術」と考えられ、予防的抗菌薬投与は「手術開始直前～術後数時間まで」とするCDCガイドライン、「4日以内を目安とする」との国内ガイドラインがあります。

平均投与日数が5日間を超えている施設は、術後感染症の合併が多くないか、また標準的な投与日数が決められているか、など検討の余地があります。

参考: 「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005)

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の29病院を解析しました。



棒グラフの1本が、1つの病院を示しています。症例数が少ない場合は、統計的に値の誤差範囲が大きくなります。

## 17) 周術期抗菌薬の平均投与日数 卵巣がん

(五十音順)

略称	病院名(五十音順)	対象症例数	平均日数	提出月数
麻生飯塚	麻生飯塚病院	17	2.0	12
(済)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	19	3.0	12
大垣市民	大垣市民病院	21	4.1	12
(赤)大阪	大阪赤十字病院	25	2.8	12
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	17	5.6	9
亀田総合	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	13	1.4	9
九州厚年金	財団法人厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院	20	2.1	9
倉敷中央	財団法人倉敷中央病院	14	2.9	6
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	20	2.3	12
静岡県総合	静岡県立総合病院	11	3.7	12
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	13	3.9	6
新日鐵広畑	医療法人社団 新日鐵広畑病院	10	2.0	9
(済)吹田	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	14	6.4	12
高槻	社会医療法人愛仁会 高槻病院	13	5.7	12
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	12	4.8	11
廣島総合	広島県厚生農業協同組合連合会 廣島総合病院	14	3.4	12
(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	22	2.9	9
(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	11	3.1	6
Q1		20	1.9	12
Q2		18	2.1	12
Q3		10	2.2	12
Q4		27	2.3	9
Q5		12	2.6	12
Q6		13	3.0	12
Q7		11	3.4	12
Q8		13	3.4	12
Q9		17	3.6	9
Q10		15	3.7	12
Q11		11	4.7	12